

【安全情報】豪連邦警察(AFP)をかたる詐欺の多発について

【ポイント】

- 豪連邦警察(AFP)は、電話や電子メールにより、連邦警察の捜査員をかたって、個人情報や金銭を要求する詐欺が急増しているとのメディアリリースを発出しました。
- AFP は「電話や電子メールで逮捕を告げたり金銭や個人情報を要求したりすることには決してない」ことや「送金やビットコイン、オンラインバウチャーを要求することはない」といったこの種の詐欺の防止策等について述べ、被害にあった場合は直ちに警察に通報するよう促しています。

【本文】

1 8月25日(水)、豪連邦警察(AFP)は、電話や電子メールにより、連邦警察の捜査員をかたって、個人情報や金銭を要求する詐欺が急増しているとのメディアリリースを発出しました。AFP はこの2か月間で数百件の被害報告が寄せられ、16,000 豪ドル以上の被害にあった例もあるとしています。

2 AFP はこの詐欺の典型的な例を以下のとおり紹介しています。

○対応者に対して、その人の銀行口座に関連する疑わしい活動を特定したことを伝え、メディアケア番号、住所、銀行口座の詳細などの個人情報を要求する。

○対応者に対して、逮捕状が発布されたと偽り、これを免れる方法として銀行口座への金銭の振り込みなどを指示する。

3 AFP はこの種の詐欺の防止策等について、以下のとおり述べています。

○AFP は、電話や電子メールで逮捕を告げたり金銭や個人情報を要求したりすることには決してない。

○AFP は、送金やビットコイン、または iTunes や GooglePlay などのオンラインバウチャーを要求することはない。

○詐欺と思われる電話を受けた場合、すぐに通話を終えること。

○詐欺犯は実際の AFP の電話番号を受け手の電話に誤表示させることで、発信元を偽装することもある。疑問を持った場合には、居住州の州都にある AFP 本部の電話番号を調べて電話し、本当の警察官と話して、受けた電話が虚偽であることを確認すること。

○詐欺にあった場合は、被害回復のため、直ちに警察に通報すること。

※AFP メディアリリース(AFP をかたった詐欺について)

<https://www.afp.gov.au/news-media/media-releases/scammers-using-fake-afp-credentials-target-vulnerable-people>

※スキャンム・ウォッチ(被害報告及び被害事例の紹介)

<https://www.scamwatch.gov.au/>

【在シドニー日本国総領事館】

Level 12, 1 O'Connell Street,

Sydney NSW 2000 Australia

代表電話(61-2)9250-1000

Fax(61-2)9252-6600

Web: http://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/index_j.htm

Email: japaneseconsulate@sy.mofa.go.jp

※このメールは在留届、たびレジ、総領事館メールマガジン配信登録／読者登録に登録されたメールアドレスに配信されております。

※「たびレジ」簡易登録をされた方で、メールの配信を変更・停止したい方は、以下のURL から手続きをお願いいたします。

(変更) <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/auth>

(停止) <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>

※「メールマガジン」に登録された方でメールの配信を変更・停止したい方は、以下のURL から手続きをお願いいたします。

(変更) <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/mailmz/modify?emb=sydney.au>

(停止) <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/mailmz/delete?emb=sydney.au>